

# 比留間 真

■ 所属 : デザイン学科

■ 職位 : 教授

■ 学位 : 修士(工学)

■ 入職 : 1997/4/1



## ■ 業績

### 【口頭発表・ポスターセッション】

- [1] 久保田悠楽, 比留間真: “新しいサイクルラック”, 第11回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, T001, p33(2019)
- [2] 鈴木晨平, 比留間真: “高齢者に向けたバス停の椅子”, 第11回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, T003, p68(2019)
- [3] 林美沙希, 比留間真: “親子関係を豊かにするための仕切り”, 第11回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, T005, p77(2019)
- [4] 荒優太郎, 比留間真: “折り紙の技術を応用した傘”, 第11回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, T008, p117(2019)
- [5] 磯貝左京, 比留間真: “高齢者に向けたバス停の椅子”第11回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, T009, p125(2019)
- [6] 磯貝左京, 比留間真: “乗降姿勢と座位姿勢から見た高齢者のためのモビリティ”, 第11回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, T010, p126(2019)
- [7] 大澤瑳希子, 比留間真: “在宅ワークを快適にする椅子”, 第12回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, T213, p101(2020)
- [8] 渡邊美優, 比留間真: “癒し効果を取り入れた団扇”, 第12回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, T218, p103(2020)
- [9] 西村雄也, 比留間真: “車椅子利用者の為の新しいモビリティ”, 第12回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, T222, p104(2020)

次のページへ続く

## ■ 業績(前ページの続き)

- [10] 永井みお, 比留間真:“観劇文化への導入の一つになる空間”, 第12回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, T227, p107(2020)
- [11] 木村さやか, 比留間真:“地下鉄駅の緑化”, 第13回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, D125, p57(2021)
- [12] 山崎涼佳, 比留間真:“幼少期から長期間使える多用途家具”, 第13回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, D126, p58(2021)
- [13] 関谷賢人, 比留間真:“認知症患者のための塗り絵フィンガーペイントセット”, 第13回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, P115, p74(2021)
- [14] 工藤真那人, 比留間真:“食べられるインテリア”, 第13回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, T133, p85(2021)
- [15] 千葉友貴, 比留間真:“コロナ禍における運動不足を解消する椅子”, 第13回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, T212, p126(2021)
- [16] 南島天翔, 比留間真:“ICT化を生かす学習空間”, 第14回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, TA1-01, p170(2022)
- [17] 渡邊良生, 比留間真:“地域らしさを表現する駅”, 第14回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, TA5-13, p172(2022)
- [18] 相澤拓海, 比留間真:“抹茶のサブスクリプションをブランディング”, 第14回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, TB7-20, p177(2022)
- [19] 法城はる奈, 比留間真:“インタラクションを取り入れたプロジェクションマッピングによる誘導”, 第14回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, TC4-12, p179(2022)
- [20] 齊藤天雅, 比留間真:“Z世代に向けたリアルコミュニケーション構築のための生活空間”, 第14回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, TC7-21, p181(2022)
- [21] 渡邊絵梨, 比留間真:“「いつでも」「どこでも」化粧直しキット”, 第15回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, TA5-05.p130(2023)
- [22] 藤木礼, 比留間真:“環境問題を扱ったカードゲームの提案”, 第15回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, TA7-07, p131(2023)
- [23] 上原果穂, 比留間真:“介護施設の防災”, 第15回大学コンソーシアム八王子学生発表会要旨集, TB7-15, p135(2023)

## 【その他 産学連携プロジェクト】

関西電子株式会社 “再生ナノファイバーの新しい活用法の提案”, (2022-09~2023-03)